

BORDERLESS IR CO., LTD

ANNOUNCES NEWSLETTER

KCR総研が株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部)の最新の
アナリストレポートを発行

2020年11月27日東京

「環境企業として ESG に注力、RCEP 合意が追風、インド等の海外水関連インフラに積極的に取り組み、再生可能エネルギーが安定収益源へと進展」

レポート概要

○株式会社ダイキアクシス(4245 東証1部)は、コーポレートスローガンにおける企業使命として PROTECT×CHANGE(地球環境を守る。人類の未来を変える。)を掲げ「水」事業を軸として、自然と人に優しい快適な生活環境の構築するための社会インフラを構築する「環境創造開発型企業」を目指して事業展開している。ESG 経営を推進しており、環境(Environnement)として、再生可能エネルギー100%に向けた取り組みを推進しており、社会(Society)として、働き方改革や女性の活躍などの多様性の推進等、ガバナンス(Governance)として経営機構改革やリスクマネジメントの強化等を掲げている。

○主要セグメントは、主力の浄化槽・排水処理システムを主力とした環境機器関連事業とシステムキッチンに代表される住宅機器関連事業が2本の柱で、9割以上を占める。小形風力発電機事業及び太陽光発電に係る売電事業等に代表される再生可能エネルギー関連事業を拡大中。成長戦略として海外の水関連のインフラ構築、地下水飲料化によるストックビジネスの拡大、製品の高付加価値化、再生可能エネルギー関連事業への注力、M&Aの推進を掲げる。

○海外水関連インフラ事業を積極的に拡大中である。日本政府は、インド洋と太平洋をまたがる地域のインフラ整備に向けて官民で約500億ドル(約5兆5000億円)を投融資する仕組みをつくると表明している。特に海外注力先として、ASEAN地区、インドが上げられるが、インド製浄化槽のエコ認証の取得をした。GreenPro 認証の汚水処理部門における認証第1号となり、インド国内における認知向上のみならず、政府関連建物や一般の環境配慮型の建物において同社浄化槽の引合い増加へと繋がるのが期待されている。また、日本政府が合意に達した中国を含む世界最大のFTAであるRCEP(東アジアの地域的な包括的経済連携)協定は、中長期的に同社の企業業績に好影響を与えるものとして期待できる。

○2020年12月期第3四半期連結累計期間における売上高は256億87百万円(前年同期比-3.4%)となったが、全般的な利益改善を進めた結果、売上総利益は54億30百万円(前年同期比+6.2%)、営業利益は8億30百万円(前年同期比+9.9%)、経常利益は9億61百万円(前年同期

比+12.3%)となった。バランスシートでは有利子負債依存度の削減が進んでいる。2020年12月期連結業績予想売上高 34,400 百万円 (前期比-3.8%)、営業利益 1,010 百万円 (前期比+0.9%)、経常利益 1,160 百万円 (前期比+0.4)、親会社株主に帰属する当期純利益 550 百万円 (-29.7%)、1株当たり当期純利益 44円32銭としている。

○再生可能エネルギー関連事業において、太陽光発電については、ほぼ設備投資を終了し、安定稼働開始しており、安定的な売電収入を確保している。2019年から2021年までの中期経営計画「Make FOUNDATION Plan」は、新型コロナウイルスの影響を考慮して新たに策定中とみられ、2021年前半に発表される予定である。

○ミャンマー・スリランカ・バングラディッシュ及びケニア等の浄化槽製造工場の建設・運営、インド・バングラディッシュ等への排水処理事業 (BOO/BOT 事業)、インドの駅など公共の場所での飲料水販売所の設置 運営に係る費用として飲料水事業 (WaterKiosk 事業) を資金使途とするサステナビリティ新株予約権を発行した。総額 21.8 億円の調達を見込んでおり、自己資本比率の向上が見込まれる。

○ダイキアキスは、効率性の指標が高い。類似・競合する比較会社平均値より高いパフォーマンスを発揮しており、資本を効率よく回転させていることが特長。KCR 総研では、同社の財務分析を実施するにあたり、類似・競合する比較会社として、(株)クボタ (6326 東証1部)、月島機械 (株) (6332 東証1部)、(株)エプコ (2311 東証1部) の3社を選択し比較している。

○株主還元に注力。連結配当性向 30%目標だが今期予想配当性向 54.2%と配当を維持する構えを見せており、株主優待の内容を変更した。500株以上の株主に対し、3000ポイントを付与するなど1年以上保有株主に等に報いるもので本レポート作成時点の実質利回り(100株換算)は、3.4%となっている。KCR 総研は、投資判断を+2 (BUY) 買い推奨 (1年以内に+10%~のアウトパフォームが予想される銘柄) とし、目標株価を1,240円とする。

アナリストレポート (KCR 総研発行) を見るにはこちらをご覧ください。

<http://www.daiki-axis.com/ir/info/index08.html>

株式会社ダイキアキス (4245 東証1部) については、こちらをご参照ください。

<http://www.daiki-axis.com/>

レポートの免責条項

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。このレポートに用いられた数値及び意見等は、信頼に足ると考える情報源から得たデータ等に基づいておりますが、KCR 総研がその正確性を保証するものではありません。使用するデータ・表現等の欠落・誤謬等については責任をおいかねますので ご了承下さい。当社は、当資料の一部または全部を利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負

いません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願いいたします。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。本資料の金融商品について当社や関連会社、及びその役職員が自己売買または委託売買取引等を行う場合があります。内容に関する一切の権利は KCR 総研にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いいたします。

リリースの免責事項

本リリースは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。なお、本サービスにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

レポートの内容に関しての照会先

株式会社 KCR 総研

〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 5-17-12

T E L 06-6965-6100 担当：金田一

お問い合わせ <http://www.kcr-inc.com/contact/>

株式会社 KCR 総研は、1999 年設立の調査会社で、優良・中小型・IPO 企業を中心にアナリストレポートを作成しています。レポートは、ロジックに基づいた科学的アプローチと足で稼ぐ定性情報を基にしたアナリストレーティングを実施しており、カバーリング企業には目標株価を示しています。

リリースに関しての照会先

Borderless IR 株式会社 <http://b-ir.co.jp/japanese/main.php>

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-10 東洋ビル 6F

T E L 03-4588-6706 担当：福田 徹

お問い合わせ <http://b-ir.co.jp/japanese/contact.php>

Borderless IR は、国内・海外向け I R 情報配信専門の会社です。国内・世界有数のメディア、企業情報データベース、メーリングリスト等を通じ、海外投資家にダイレクトに企業の最新情報と本質的な強みを主としてニュースレターとアナリストレポートで配信しています。その他、海外 I R 支援全般を手掛けているプロフェッショナル企業です。

©Borderless IR Co., Ltd. All rights Reserved

本リリースに掲載された内容を許可なく複製、転載することを禁じます。